

組合の楽しい便り 投稿歓迎します。

No427

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合

☎111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

令和3年2月号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

中小企業組合危機管理対応実態調査報告書

BCP(事業継続計画)策定はわずか5.8%

人的・資金的余裕がないがその理由

東京都中小企業団体中央会では、このほど「中小企業組合危機管理対応等実態調査報告書」をまとめ発表しました。

同報告書は各組合における新型コロナウイルス感染症防止対策やBCPの策定など危機管理に対する取り組み状況を把握し今後の効果的な支援をするための基礎資料とするために実施されたものです。

これによると「新型コロナウイルスが組合に対して与えた影響について」では、「会議(総会・理事会含む)の中止・延期」が六四・八%で最も多く、次いで「式典・イベント等の中止・延期」が五一・七%、「共同事業売り上げの減少」が四七・一%、「講習会等の中止・延期」が四四・八%、「WEB会議の導入」が二六・六%、「共同事業の停滞」が二〇・〇%と続いている。

「組合が危機管理の対象として想定している緊急事態について」では、「地震」が八一・二%、次いで「感染症」が六〇・一%、「風水害(台風等)」が五六・四%、「火災」が四五・八%、「コンピュータ障害」が三六・五%、「大規模停電」が三〇・一%、「情報漏洩」が二七・三%と続いている。

「組合が危機管理対応を実施するうえでの課題について」では、「人的な余裕がない」が六三・一%、次いで「資金的な余裕がない」が三九・五%、「ノウハウや情報がない」が三五・七%、「時間的な余裕がない」が三三・二%、「組合運営における優先順位が低い」が二六・〇%だった。

「組合が危機管理対策を推進するうえで必要な支援について」では、「物資(食糧・水・毛布・電池等)の備蓄に関する支援」が三六・二%、次いで「専門家の紹介・派遣」が二三・八%、「災害対策における官民連携の推進」が二三・六%、「組合が講習会等を開催する際の助成」が二三・四%、「BCP(事業継続計画)の策定支援」が二二・七%、「防災ガイドラインの策定支援」が二〇・四%と続いている。

「組合が危機管理の一環として自治体や他の組合・団体等と締結している連携・協力に関する協定について」では、「国・自治体と締結している」が八・九%、「他の組合、団体等と締結している」が八・六%、「検討中または準備中」が一〇・五%であった。

「組合が危機管理対策の一環として締結している連携・協力に関する協定の相手先及び内容について」では、「自治体」が五八・五%、次いで「組合」が三一・三%、「団体」が二三・一%、「企業」が八・二%であった。

「組合のBCP策定状況について」では、「策定していない」が七六・六%と最も多く、次いで「今後策定する予定」が一三・三%、「すでに策定している」が五・八%、「現在策定中」が四・三%と続いている。

「組合がBCPの策定や運用をする上で必要な支援について」では、「BCP策定のマニュアルの提供」が五四・〇%、次いで「他の組合が策定したBCPのモデル事例の紹介」が五二・七%、「BCP策定や運用に対する助成制度や補助金制度」が三八・四%と続いている。

今回の調査では、組合では危機管理に対する意識がまだまだ低いことが明らかになり、今回の新型コロナウイルスの感染によって、組合として取り組むことが急務であることが裏付けられた。

「組合が危機管理対策を実施するうえでの課題について」では、「人的な余裕がない」が六三・一%、次いで「資金的な余裕がない」が三九・五%、「ノウハウや情報がない」が三五・七%、「時間的な余裕がない」が三三・二%、「組合運営における優先順位が低い」が二六・〇%だった。

「組合が危機管理対策を推進するうえで必要な支援について」では、「物資(食糧・水・毛布・電池等)の備蓄に関する支援」が三六・二%、次いで「専門家の紹介・派遣」が二三・八%、「災害対策における官民連携の推進」が二三・六%、「組合が講習会等を開催する際の助成」が二三・四%、「BCP(事業継続計画)の策定支援」が二二・七%、「防災ガイドラインの策定支援」が二〇・四%と続いている。

「組合が危機管理の一環として自治体や他の組合・団体等と締結している連携・協力に関する協定について」では、「国・自治体と締結している」が八・九%、「他の組合、団体等と締結している」が八・六%、「検討中または準備中」が一〇・五%であった。

「組合が危機管理対策の一環として締結している連携・協力に関する協定の相手先及び内容について」では、「自治体」が五八・五%、次いで「組合」が三一・三%、「団体」が二三・一%、「企業」が八・二%であった。

「組合のBCP策定状況について」では、「策定していない」が七六・六%と最も多く、次いで「今後策定する予定」が一三・三%、「すでに策定している」が五・八%、「現在策定中」が四・三%と続いている。

「組合がBCPの策定や運用をする上で必要な支援について」では、「BCP策定のマニュアルの提供」が五四・〇%、次いで「他の組合が策定したBCPのモデル事例の紹介」が五二・七%、「BCP策定や運用に対する助成制度や補助金制度」が三八・四%と続いている。

今回の調査では、組合では危機管理に対する意識がまだまだ低いことが明らかになり、今回の新型コロナウイルスの感染によって、組合として取り組むことが急務であることが裏付けられた。

「シール印刷の基礎知識と基本マニュアル」 連合会から組合員に無償配布

全日本シール印刷協同組合連合会(田中祐会長)は、これまで多く出版されてきたこのほど大阪協組の(株)丸紀印刷金光雅志氏が著作した「新人才ペレーター必見!」最新版『シール印刷の基礎知識と基本マニュアル』A4版八十四ページを、金光氏のご厚意により、組合員・会友の連合会の会員に対し、一冊ずつ無償で配布することになりました。

同書は、シール・ラベル印刷に必要な印刷の基礎技術から日常業務手順などをまとめて紹介した業界初のマニュアル本で、二月一日より日報クリエイトから出版されました。

印刷業界では、オフセット印刷方式
02 シール印刷以外の印刷方式
03 シール原紙
04 インキ
05 色
06 版や抜き型
07 新版商品の受注から仕様決定および作業指示書の作成
08 印刷の手順

目次は
まえがき

01 シール印刷の印刷機と印刷方式

03 シール原紙

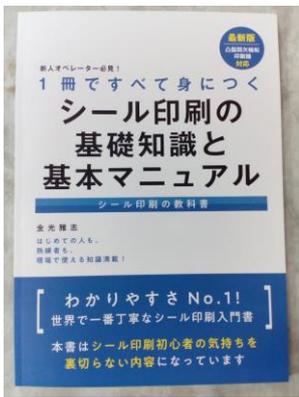
04 インキ

05 色

06 版や抜き型

07 新版商品の受注から仕様決定および作業指示書の作成

08 印刷の手順



09 印圧
10 抜き及び表面加工
11 後工程
12 Q&A
おわりに

外国人技能実習制度に

「RPF製造」職種が追加認定

工業会が技能実習実施機関に



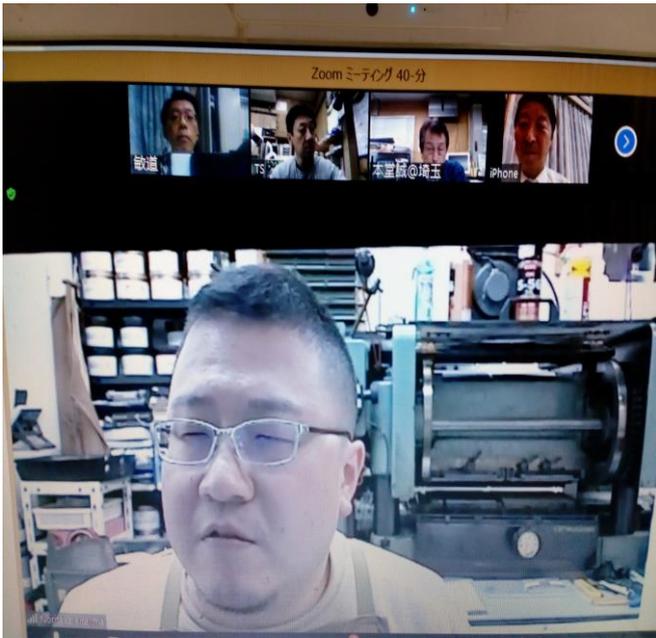
認定書を受ける長田会長(左)

一月八日に厚労省にて外国人技能実習制度での認定職種追加の省令改定が行われ、環境・リサイクル部門では業界初となる「RPF製造」職種が追加認定となりました。

同時に日本RPF工業会(長田和志会長)が、「技能実習評価試験実施機関」として認定されました。

日本RPF工業会は、一昨年よりRPF製造職種を外国人技能実習制度に追加する申請作業を進めてきましたが、長田会長は「今回の職種の追加決定は、『海洋プラスチック』『都市浮遊ごみ』等で大きな環境問題を抱えているアジアの開発途上国からの使用済みプラスチックの処理方法および高品位の固形燃料製造技術としてのRPF製造技術の関心、技術移転要望に応えることが可能になり、単なる環境機械、設備の応援のみならず、技能実習を通じて広く技術移転が実現され、将来的な海外の人材育成、社会貢献に資することができると語っています。

初のオンライン理事会を開催 ミニ機材展やコロナ対応について



組合の十二月度理事会は、新型コロナウイルスの影響によって、十二月八日（火）午後六時半より、理事会としては初のZOOMによるオンライン開催となりました。

ZOOMによるオンライン会議に参加するのが初めてのことか時間通りに開催することができ、各議案を慎重に審議しました。

まず初めに北島理事長より連合会にて、大阪の金光氏（丸紀印刷）がシール印

刷技術の本をまとめたので、それを連合会でどう取り扱うか現在検討中であることが報告されました。続いて三月二十日に開催予定のミニ機材展に関しては、

・ 出展社数と会場費の最低ラインの確認
・ 会場の小間割りに関して
・ 他の展示会の様子を参考に
・ シール業界の紹介も出来るよう、シールの展示など
・ オンライン展示会の併催
などについて協議しました。

また、本間専務理事より三協組合同と謳っている以上、三協組でしつかり話し合う事が重要で、北島理事長一人で抱え込まないようにしてほしいと注文が付けられました。

国や都の助成金などの支援状況に関して本間専務理事より、中央会担当者を招いてオンラインでの勉強会を開催することや、五〇%を割らなくても得られる助成金もあり、低金利ローンへの借り換え等々、組合として迅速に組合員に情報の提供をしていくことが承認された。

この他に清宮参与から、カーボンオフセットの話があり、今後無関心ではいられなくなってくる話なので、ラベルニュースなどで説明していきたいと報告がありました。

その他として、前田印刷所の新工場完成のお祝いに記念品として時計が贈られたこと、廃業した志機の現状と今後について、村田金箔にいた広野さんが日本ウエストへ移った件について報告があり、午後七時半す

ぎにオンラインで初の理事会は無事終了しました。

第四回組合まつり

オンライン開催中

東京都中小企業団体中央会主催の第四会「組合まつり in Tokyo」は、先月二十六日から今月二十五日までオンライン開催をしています。

組合祭りは毎年有楽町の国際フォーラムで開催されてきましたが、今回は新型コロナウイルスの影響で、オンラインでのバーチャル展示会となりました。

今回は「バーチャルとリアル融合展」と銘打って、先月二十六日から今月の二十五日までの一か月開催していますが、ヴァーチャル空間上に各出展組合の団体の個別ページを設置しています。個別ページにはキーワード検索からもヴァーチャル空間を回遊中にも訪問することが可能です。

ホームページは左記へ

<https://kumiai-matsuri.jp/>

振り返れば五十年 私のラベル業界半世記

専務理事 本間 敏道(7)

前回大阪の山田英朔氏と松口豊氏について書きましたが、大阪ではこの他にも多くの方との出会いがありました。

中でも忘れられない方は、当時日新シール社長だった西村純一氏でした。初めてお会いしてから可愛がって頂き、取材に行くたびに夜は飲みで連れて行ってくれ、二次会は決まってカラオケでした。

西村さんは本当にカラオケ好きで。あの普段のだみ声(失礼)からは想像できないほど上手で、レパートリーも広がったのを記憶しています。

ある時「本間ちゃん、たまには家で飲もうよ」と言っただけで自宅に招待され、奥さんや娘さん、息子さんにも紹介されました。その後も会う機会が多くなりましたが、私が栗原延行さんと親しいことを知って、ある日「今度東京に行ったときに

栗原さんを紹介してくれませんか」と言われ、その一ヶ月後に銀座のカニ料理店で二人を引き合わせました。

後で考えるとこの時にすでに西村さんは栗原印刷との合併を考えていたようで、平成四年に両社が合併して「シーレックス」となったことは業界の大きなニュースとなりました。

これ以外にも当時の沢井印刷社長の沢井清氏も私を可愛がってくれた一人でした。本当に温厚な好々爺のような人でしたが、大阪の理事長や連合会の会長も務め、言うべき事はしっかりと

やはりある日沢井さんの自宅に招待され、ご馳走になりましたが、和風建築の立派な家でしたが、そのとなりにご子息の沢井浩一氏の洋風の家があり、その間を渡り廊下で行き来できるようになっていました。その後もうたがひに昔

話を聞かせてくださり、沢井印刷が昔は足袋の製造をしていたことや、当時の大阪のシール業界についていろいろ教えて頂きましたが沢井印刷はその後無くなつてしまったことは残念でありません。先代の沢井兼次郎氏も連合会の会長を務めており、親子で会長を務めたのは沢井さんだけでした。

かつて前田印刷社長の前田幸雄氏から「大阪の船場には三代続いた店がない、親苦勞、子樂、孫仕舞い」という話も聞きました。また、西村さんつながりで当時の不二紙工大阪支店の小林孝彦氏、志機製作所営業部長の一木氏とは、カラオケ仲間となり、特に一木さんは抜群に上手で、私も教えていただき、後に一木門下生と称していました。

「本間ちゃんとは兄弟弟子だね」と言って笑いました。でも

その一木さんとはとにかく面倒見の良い人で、大阪だけでなく、北海道から九州まで幅広くシール業者と付き合いがあり、特に若手からは人望があり、私も当時は血気盛んだつたので、理不尽なことには黙っていられない性格で、相手に食って掛かることも度々ありましたが、そのたびに一木さんが「本間ちゃん、ここは辛抱やで」と諭していただいたことが何度もありました。

長い間にはこんな笑い話のようなこともありましたが。今は無くなってしまいましたが、総谷印刷所社長の総谷胤緒氏にインタビューした際、私が質問をする

と、「あんさんは、どない思いますねん」と逆に聞かれ、仕方ないので「私はこう思います」と答えると社長は「わてもそうだと答えるのみです。その後、どんな質問をしてもこの繰り返しでした。十八年間編集に携わってききましたが、後で記事にする際に困ったことは言うまでもありません。(続く)

■帯状疱疹とは

帯状疱疹とは、帯状疱疹ウイルスを原因として発症する病気です。初期段階には皮膚がびりびりするような痛みを感じ、時間経過とともに赤みや水疱形成などの皮膚症状が現れます。皮

が再活性化すると、帯状疱疹を発症します。

このウイルスの再活性化を予防したり、発症に至っても軽症で済ませたりするためには、予防接種が有効です。帯状疱疹の好発年齢である五〇歳以上の方を対象としており、ワクチン接種により水痘帯状疱疹ウイルスへの免疫力を高め、病気の発症や後遺症（帯状疱疹後神経痛）を予防することができま

■帯状疱疹の症状

帯状疱疹は、再活性化を示すウイルスの神経領域に一致して症状が出現します。初期症状はびりびりとした皮膚の痛みであることが多い、必ずしも見た目の皮膚変化は伴いません。

疹が広い範囲に広がったり、ハント症候群という病気を伴ったりする事もあります。水痘帯状疱疹ウイルスは、初めて感染したときに水疱瘡として発症しますが、その後は体内に隠れ住んでいます。ストレスや疲れ、免疫機能の低下などに伴い、体内に潜んでいたウイルス

外にも顔面を含めて全身どこにも現れます。

顔面神経に関連して水痘帯状疱疹ウイルスが悪さをすると、ハント症候群と呼ばれる病気を引き起こすことがあります。ハント症候群では、目をうまく閉じられない、口をうまく閉じられず食べ物が口からこぼれる、難聴、めまい、味覚の低下などの症状がみられます。その他、便秘、麻痺、膀胱直腸障害などが現れることもあります。

■帯状疱疹の治療方法

帯状疱疹の治療方法は、皮膚所見の重症度や部位に応じて決定されます。中心的な治療方法は、原因となる水痘帯状疱疹ウイルスに特化した抗ウイルス薬を用いた治療です。使用される薬剤はアシクロビルやバラシクロビルなどで、内服薬や点滴薬などの形態があります。

また、帯状疱疹は強い痛みを伴い、一般的な鎮痛剤では対処できないことが多いです。その際は、麻薬、抗けいれん薬の一部

であるガバペンチン、神経ブロックなどを組み合わせ

た対処が必要とされます。重症化して入院治療が必要になるケースもあります。

なお、帯状疱疹を発症したとき、ウイルスに感染したことの無い人と接触すると、その人が水疱瘡を発症するリスクがあります。特に乳幼児は水疱瘡のワクチン歴がないことがあるため、接触には注意が必要です。

特に過去に水疱瘡に罹ったことがない人は、乳幼児であれ、成人であっても接触すれば発症する危険性がないとは言えません。

上皇後の美智子様が帯状疱疹を発症して療養しているというニュースが時々流れるように、帯状疱疹は体調やストレスなどで、何回でも発症するようですが、予防する方法は残念ながらありません。疲れを溜めないこと、ストレスを溜めないことと言われますが、現代人にとっては難しいこととですね。

【参考資料】

<https://medicalnote.jp/diseases/帯状疱疹>

No173 健康がいちばん!

帯状疱疹はウイルスが原因

初めての感染の時は水疱瘡に

王子タック株式会社（社長・景山高介、本社・東京都中央区銀座五の十二の八）は、かねてより展示会等で参考出品していた「環境対応フィルムタック」に

「Eco Marine TacTM」の製品名で昨年十月よりサンプル提供を開始しました。

環境対応フィルムタック

「Eco Marine Tac TM」をサンプル提供

「Eco Marine TacTM」で使用する表面基材は、焼却時の二酸化炭素排出量抑制のためにバイオマス原料であることに加え、化石由来のプ



ラスチックによる海洋汚染問題やマイクロプラスチックの問題を見据え、土壌や海洋でも自然分解し易いバイオマスプラスチックを採用

し、また、粘着剤にはその分解性を阻害しにくい独自の特殊粘着剤を使用しております。白色タイプ、透明タイプがあります。

特徴としては、
① 自然分解しやすいバイオマスプラスチックを表面基材に使用し環境へ配慮致しました。

② PETタックやOPPタックと同等の印刷適性を有しています。

③ 一般的な紙タックと比較し優れた耐水性を有しています。

④ 表面基材の分解性に阻害影響が少ない特殊粘着剤を使用しています。

⑤ 環境省が行っている「海洋プラスチックごみ」問題解決への「取り組みキャンペーン」「プラスチック・スマート」の登録製品です。

この他にも自然分解しやすい（生分解しやすい）バイオフィルムのオーバールミ用「エコマリンタックオーバールミ」もあります。これも自然分解しやすい材

料を使った環境にやさしい王子タックのラベル用オーバールミです。焼却時の二酸化炭素排出量抑制のためバイオマス原料を使用。

特徴としては

◆ 表面基材には、自然分解しやすいバイオマスフィルムを使用。

◆ 表面基材の分解を阻害しにくい特殊粘着剤を使用

◆ PET、PP 材質のオーバールミフィルムからの代替可能、脱プラスチック化を図る。

◆ 環境対応している POP 用紙ラベルのオーバールミとして最適。

◆ 意匠性（艶感）を向上させ、表面擦過性・耐水性の補強が可能。

◆ 海洋分解しやすいオーバールミを使うことにより「海洋プラスチックごみ」削減に貢献。

◆ 環境省が行っている、プラスチックスマート登録製品 など。